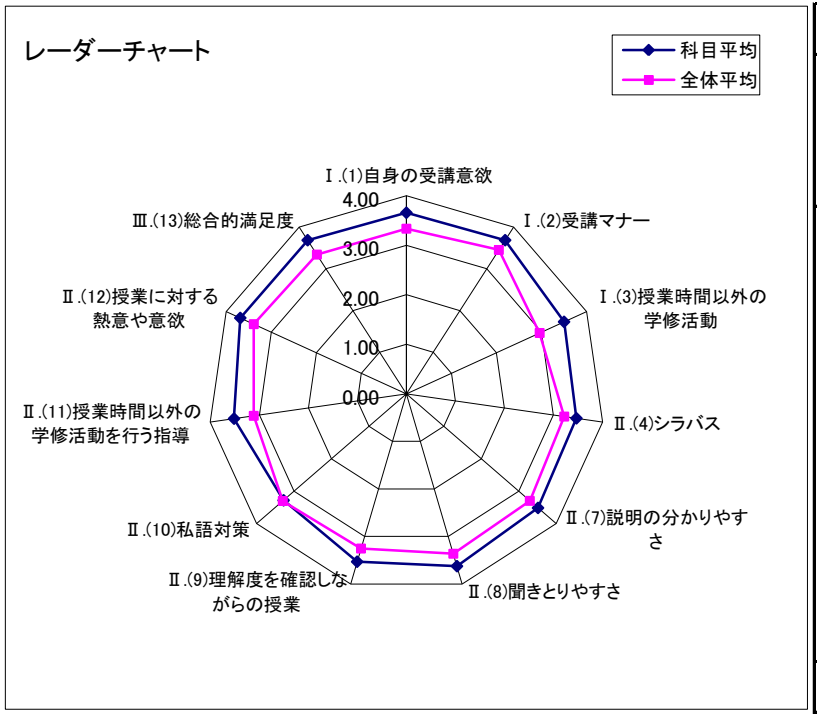
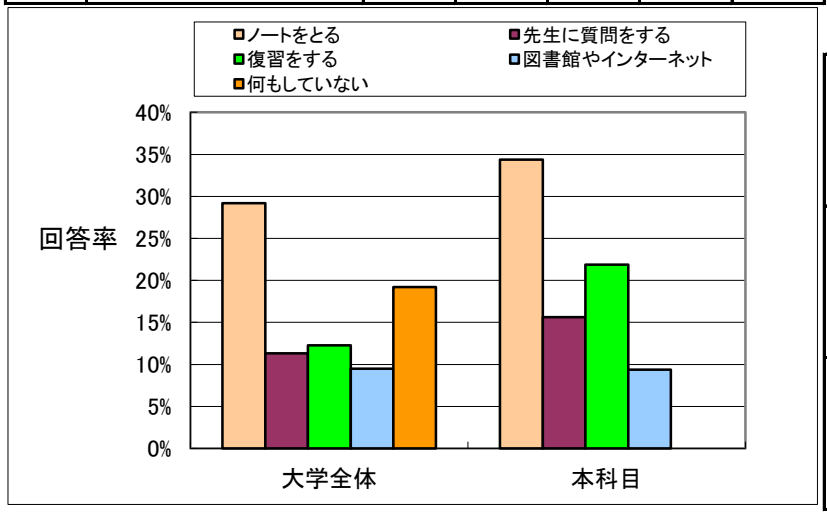
講義科目　授業アンケート結果



	設問No.	科目平均	全体平均
自身の受講姿勢	Ⅰ.(1)	3.66	3.33
	Ⅰ.(2)	3.69	3.45
	Ⅰ.(3)	3.50	2.96
講義内容・方法	Ⅱ.(4)	3.47	3.22
	Ⅱ.(5)		
	Ⅱ.(6)		
	Ⅱ.(7)	3.52	3.30
	Ⅱ.(8)	3.63	3.36
	Ⅱ.(9)	3.53	3.25
	Ⅱ.(10)	3.28	3.30
	Ⅱ.(11)	3.52	3.11
	Ⅱ.(12)	3.69	3.39
総合評価	Ⅲ.(13)	3.69	3.34

※レーダーチャートの平均は4段階評価　4(そう思う)、3(ややそう思う)、2(あまりそう思わない)、1(そう思わない)

<※複数選択可項目>		ノートをとる	先生に質問する	復習をする	図書館やインターネット	何もしていない
Ⅳ.(14)	授業を理解するための工夫	34.4%	15.6%	21.9%	9.4%	0.0%



	本科目平均	全体平均
自身の受講姿勢 Ⅰ.(1)～(3)	3.61	3.25
講義内容・方法 Ⅱ.(4)～(12)	3.52	3.28
総合評価 Ⅲ.(13)	3.69	3.34

アンケート結果に対する教員のフィードバックシート

授業年度	2013年度　後期
時間割番号	1233
科目名	簿記Ⅱ／簿記
教員名	

①授業計画の達成度について

本講義の目的は現実の会計を理解するための入門簿記知識の習得である。特に前期の簿記Ⅰから引き続きの内容であった。後期の授業においても、簿記検定試験3級教科書を中心に、またプリントを配布して講義を行った。3級の試験範囲は全て講義をし、試験対策と私が試験委員を行った経験を交えて講義や練習を行うことで、有意義な講義ができ授業計画を達成できたと思われる。

②授業の進め方について

マイクを用いずに大きな声で明瞭に説明したことが良かったことが、「講義内容・方法」の設問の数字に現れていると思われる。これは学生の満足度も高く、学生も難易度は適切と思っているようである。まじめな学生は留学生に多く、特に1年間の特別留学生の表情を見ながら言葉を言い換えるなどして授業をすすめたことは、日本の学生の理解にも功を奏したと思われる。

③アンケート全体を通しての自己評価、及び、今後の授業改善計画について

設問の全ての数字が全体の平均を上回っており、普段からの学生から聴取している授業の印象を表していると思われる。学生に対しては出席を継続することを要求し、多様化する学生に対するために、本学独自の事情をより分析・理解し、組織的に教員間で検討する必要がある。毎回の授業においてもそれなりの評価を得る努力は必要であり、学生の意見を聞きながら授業を改善する予定である。

奈良産業大学